

組合長あいさつ

代表理事組合長

市川 平治



組合情報誌「森だより」十四号の発行にあたりご挨拶を申し上げます。

私も、昨年六月に組合長に就任させて頂きましたが、早くも一年が経過致しました。

お陰様で、六月二十六日には組合長として初めての「第十四回通常総代会」を無事に開催させて頂きました。関係者の皆様に心から御礼を申し上げます。

さて、昨年一年間を振り返り、新米組合長として戸惑うことも多々ございましたが、二年目に入り、今後は更に落ち着いて組合運営に取り組む覚悟を新たにしております。

また、五月からは参事として千明 誠氏を迎えることができました。千明氏は永年にわたり

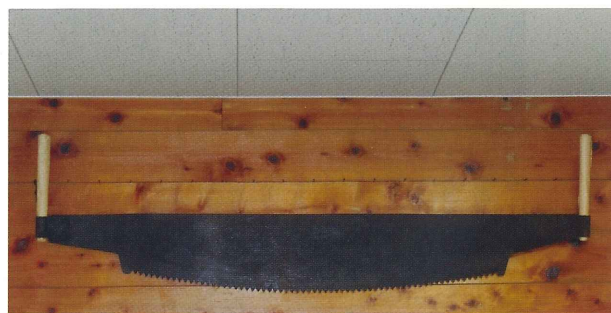
県職員として林業行政に携わって来られました。特に森林組合関係への造詣が深く、組合員の皆様にも顔馴染みの方が多いことと思います。

この様な参事の就任は、組合運営の充実を図る上において心強い限りであり、今後の活躍を期待するものであります。

ところで、組合の経営内容や活動方針については、本文の中で触れさせて頂きますので、ここでは組合運営に当たる私の基本姿勢について述べさせて頂きます。

組合事務所に来られた方は、お気づきかと思いますが事務所の北側の壁に「両挽のこ」を掲げてございます。これは、地元の前田製材さんからお借りした物ですが、昔の林業技術を伝える意味と共に、この道具は「力を合わせること」の大切さを象徴する意義を持つもの、と考えるからであります。

つまり「両挽のこ」は二人が息を合わせ、相手が押したら自分分は引き、相手が引いた時に押してやらなくては使えない道具です。



両挽のこ

私は、職員相互の関係も、組合員の皆様への対応も、先ず相手を思いやる気持ちを大切にすることこそ組織運営の基本であると考え、職員にもそのように訓示しています。

この様な基本姿勢に立って、森林林業に課せられた社会的使命を十二分に発揮し、そして、組合員の皆様のご期待に応えられるよう、組合運営に取り組んで参る所存でございます。

今後とも、宜しくご指導ご協力のほどお願い申し上げます。挨拶と致します。

第十四回

通常総代会開催

榛名文化会館エコール
平成二十七年六月二十六日

総代会の概要

- ・ 森林組合綱領唱和
- ・ 開会の辞 清水重信副組合長
- ・ 組合長あいさつ
- ・ 来賓挨拶
- ・ 議長選出 村上総代
- ・ 議事録作成に携わる理事紹介及び書記指名
- ・ 第一号議案から第十号議案まで審議
- ・ 質疑
- ・ 採決
- ・ 付帯決議
- ・ 閉会の辞 追川理事

